



演劇や美術、文学など各分野で優れた業績をあげた芸術選奨受賞者と阿部文部科学大臣(前列中央㊦)、赤松政務官(同㊧)ら

各分野で優れた業績「芸術選奨」贈呈式
坂東彌十郎さん、井戸川射子さんら受賞の喜び語る

令和6年度芸術選奨贈呈式が3月11日、東京都内ホテルで執り行われ、文部科学省から阿部俊子大臣や赤松健政務官らが出席した。芸術選奨は、演劇、映画、音楽、舞踊、文学、美術、メディア芸術、放送、大衆芸能、芸術振興、評論の各分野において、その年に優れた業績をあげた者に、文部科学大臣賞ま

たは新人賞を贈るもの。今年度の大臣賞には、歌舞伎俳優・坂東彌十郎さん、美術家・塩田千春さん、漫画家・青山剛昌さん、俳優・阿部サダヲさん、落語家・立川談春さんら24名が受賞した。新人賞には、小説家で詩人の井戸川射子さん、俳優の河合優実さん、(株)ヘラルポニー代表取締役の松田崇弥さんと松田文登さんら22名2組が受賞した。

贈呈式で、阿部文部科学大臣は「芸術選奨は芸術活動の奨励と振興に資するもので、今年で75回目を迎えます。受賞者の皆さまに深く敬意を表するとともに、一層のご活躍をご期待申し上げます」と、お祝いの言葉を述べた。

受賞者を代表してあいさつした坂東彌十郎さんは「着物の似合わないボーッとした子供でした。その後、三代目市川猿之助のもとで父の亡き後、いろいろ勉強させてもらい、今に至っています。先輩方に、この場を借りて心より御礼申し上げます」と語った。また、井戸川射子さんは「これからも自由を楽しみ、自分の表現を突き詰めていくことができれば、これほどの幸せはありません。本日は本当にありがとうございます」と述べた。



阿部文部科学大臣

ラさんや青山剛昌さんがスピーチ。青山さんは「ファンのみならず、この声で力になった」という声があった」と、創作の原動力について語った。



坂東彌十郎さん



井戸川射子さん



阿部サダヲさん㊦に表彰状を授与する阿部大臣